

おおふじだより

この夏の暑さに負けず、こども園は子どもたちの元気で明るい声が飛び交っていました。8月の暑さはなかなか厳しく、日中の水遊びも存分にできた日は少なかったです。

他県では大雨による土砂災害や河川が氾濫し、避難勧告が発令された地域もありました。改めて自然災害の怖さを痛感しました。大きな災害がなかった私たちの地域ですが、今一度、災害時にはどう行動するか、家族間で話し合っておくといいですね。

どんな遊びができるかな？

遊びを通じて【身体的能力】を育てていきましょう



近年の生活スタイルの変化や都市化、少子化が進んだことによって、子どもが体を動かして遊ぶ空間、遊ぶ仲間、遊ぶ時間という「3間」がどんどん少なくなっています。交通事故や犯罪への懸念などから屋外で遊ぶ時間が減り、核家族化や共働きの家庭が増えたことから大人と子どもと一緒に遊ぶ時間や手間が減っています。

まだまだ、暑さが続き戸外で体を動かして遊べる時間は少なく、遊戯室も空調工事を行っており使用できません。室内でも楽しく体を動かして遊べる工夫を担任たちは「部屋でやれる遊び」「外でやれる遊び」を子どもたちと一緒に考えていこうと思っています。子どもたちの意見を取り入れながら、どんな遊びがでてくるかな…。

従来の運動遊び参観の内容とは異なる部分も出てきますが、来月には保護者の方と一緒に体を使って遊ぶ、ふれあい遊びの日を設けています。この日がこれから体を動かしやすい季節の遊びにつながるきっかけにしていきたいです。

「げんきっこフェスティバル」みんなで体を動かして楽しめる日にしたいと考えています。詳細は3日にお手紙を配布しますので、ご確認をお願いします。



1学期にもお知らせしましたが、9月よりうさぎ組とぱんだ組は園生活のすべてを一緒に過ごす混合保育を始めます。

生活の場をぱんだ組の保育室とし、遊びの場をうさぎ組の保育室として使用していきます。また、長い時間を過ごす預かり保育利用児、保育園卒児と幼稚園卒の子どもたちのロッカーの場所を変え、生活しやすいように様式を整えました。

【混合保育を取り入れることでのねらい】

◎思いやりや助け合いの心が育つ

年上の子は年下の子に対して優しく接する機会が増え、助けたり、教えたりする経験を通して、協力し合う大切さや社会性を学びます。

◎年下の子の見本になるという意識を持ち、リーダーシップが育まれる

異なる発達段階の子どもが一緒にいるため、自分の力でできることは自分でやろうとする自立心養われていきます。

◎年齢に合わせたコミュニケーションをとる力が身に付く

言葉の発達段階が異なる中でお互いに言葉の使い方や伝え方、伝わらなかった場合の工夫を学ぶことで、年齢の異なる相手ともスムーズにコミュニケーションを取れるようになります。

◎年齢に応じた考え方や行動パターンを互いに観察する機会が増える

「こうすればいいんだ」と真似したり、「こういう伝え方をすると分かりやすい」と工夫したりするなど、柔軟な発想や適応力が身に付きやすくなります。

◎年齢ごとに異なる視点や考え方を体験できる学びの場が生まれる

日常を過ごすことで、個性や発達を尊重し合いながら互いに刺激を与えあい、豊かな成長を促します。



お知らせ

◆9月の行事予定に変更

24日(水)年長児交流(向笠幼)となっていました。全園児で向笠幼稚園に出かけます。

◆未就園児の「招待保育」について

向笠幼稚園との統合に向けて、それぞれの園の様子を知る機会となるよう、互いの園の招待保育に参加できるようにしました。

お知り合いの方にもお声掛けください。向笠幼稚園の日程は玄関に掲示してあります。

来年度入園予定以外の方でもどうぞ！



9月の行事予定は
8月の園だよりを
ご覧ください